

# 令和 8年度予算見積調書

課室名：管財課  
担当名：営繕担当  
内線：2594

(単位：千円)

番号	事業名	会計	款	項	目	説明事業
P25	未来をひらく快適空間整備事業	一般会計	総務費	総務管理費	財産管理費	県有財産管理営繕事業費
事業期間	令和 8年度 根拠 法令	なし	針路 分野施策	0805	支え合い魅力あふれる地域社会の構築 デジタル技術を活用した県民の利便性の向上	SDGsゴール SDGsターゲット 8, 16 8-8, 16-6

## 1 事業概要

第三庁舎の講堂をワークラウンジや各種イベント等に対応可能な多目的スペースに改修し、大人数で多用途に利用できる快適な空間を整備することで、職員の多様な働き方を促進するとともに、新たな庁舎における機能の検討に活用する。

未来をひらく快適空間整備事業 88,000千円

## 2 事業主体及び負担区分 (県10/10)

## 3 地方財政措置の状況 なし

## 4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 $9,500\text{千円} \times 1.0\text{人} = 9,500\text{千円}$

## 5 事業説明

### (1) 事業内容

- ・大規模空間に大型LEDビジョンや自由度の高い什器を導入し、第三庁舎では初のワークラウンジとして活用するとともに、各種イベント等に対応可能な多目的スペースを創出する。
- ・講堂が持つ大規模空間を活かし、業務に最適な環境を整え、職員がパフォーマンスを最大限発揮できるよう支援する。

### (2) 事業計画

- ア コンサルティング業務委託の発注
- イ デジタル機器導入を含むレイアウトの検討
- ウ 改修工事、運用及び効果検証

### (3) 事業効果

- ・講堂を多様なシーンに対応する空間に改修し、新たにワークラウンジとしての活用も図る。
- ・職員の多様な働き方を促進するとともに、魅力的で柔軟な働き方を想像させる空間へリニューアルし、人材確保につなげる。

【活動指標(アウトプット)】ワークラウンジや各種イベント等に対応可能なスペースの提供

【成果指標(アウトカム)】アンケート調査による職員の満足度 80%以上

予算額		財 源 内 訳					一般財源	前年との対比
決定額	88,000						88,000	88,000
前年額	0						0	

## 事業内訳書

事業名	未来をひらく快適空間整備事業		
単位事業名	未来をひらく快適空間整備事業	予算額	88,000千円

○歳入

(単位 : 千円)

款・節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	88,000	88,000	
合計	88,000	88,000	

○歳出

(単位 : 千円)

節	当初予算額	対前年度増減額	主な内容
委託料	88,000	88,000	第三庁舎の講堂リニューアル 88,000千円
合計	88,000	88,000	